

# かもがわ



迎春



# 宇宙と太陽と地球

地球は太陽系の惑星ですが、太陽系は、宇宙にある無数の銀河の一つである天の川銀河に属しています。

宇宙は、今から一三八億年前に何もなかったところに突然生まれて急速に膨張を始めた。これがビッグバンで、その後の膨張が宇宙インフレーションと言われるものです。宇宙が生まれる前には空間も何も無かったというのですが、これがどういふことなのか私達の想像力を超えていてイメージすら分かっていません。ともかく、現在、観測によつて分かっているのは、宇宙の無数の星があらゆる方向に向かつてもの凄い速度で相互に遠ざかっているという事実です。時間を遡らせて考えると、ビッグバンによる膨張以前は宇宙そのものが一点に集中していたことになります。

ビッグバン後に、今、宇宙に充滿している星などの物質が誕生しました。地球上には、宇宙のあらゆる方向から微弱な電磁波が降り注いでいることが観測されていますが、これが「宇宙背景放射」と言われるもので、ビッグバンによつて発生したものだと言われています。宇宙の膨張のために地球から見えて一三〇億光年の距離より遠方にある天体は私たちから見る事ができません。このような遠方では、光の速さよりも遠ざかる天体の速さが大きくなるので、光が外部に届かないのです。

宇宙の数多くの星は、均等に散らばっているのではなく、塊になつていて銀河(星雲)を形作っています。地球などの惑星を含む太陽系は天の川銀河にあります。天の川銀河には太陽などの星が二〇〇億個も含まれており、そのような銀河が宇宙全体には無数にあると言われます。宇宙は体だけでは大きいのか、果てがあるのかないのか、文字通り想像を絶します。ビッグバンは、アメリカの天文学者ジョージ・ガモフが言い出したことですが、宇宙背景放射と言われる微弱な電磁波が実際に観測されたことから、今では天文学上の定説になっているようです。

宇宙の誕生から五億年から二〇億年後に、宇宙に漂っていた水素とヘリウムが集まり始め核融合によつて炭素や鉄などの元素が生まれ、それが爆発して宇宙空間にまき散らされ何千億個も星が誕生し、その集まりがいくつも出来て原始銀河になりました。宇宙には、星のほかに「暗黒物質」という光や電波などでは観測できない未知の物質が存在し、宇宙全体にある全物質の質量の二三%程度を占めるようです。私達の周りにある通常の物質は、宇宙全体にある全物質の僅か四%程度にすぎません。残りは暗黒エネルギーと呼ばれる、これが膨張を加速するエネルギーとしてビッグバンの原動力だと言われています。暗黒エネルギーが一体何なのかは

分かっていませんが、宇宙の成り立ちを説明するためにその解明が必須です。これは現代物理学が追究する最先端のテーマの一つのようです。

太陽は、天の川銀河に含まれる二〇〇億個もの星の一つで、四六億年前に誕生し自ら光つて膨大なエネルギーを放出し、その引力によつて地球などの惑星をその周囲に回らせています。惑星の廻りには衛星と呼ばれる小さい星が回っているものもあります。太陽系の惑星のうち、水星、金星、地球及び火星は、岩石などが集まって出来ている岩石惑星ですが、木星、土星、天王星、海王星などは気体でできていてガス惑星と呼ばれます(天王星、海王星は巨大水惑星だとする説もあります)。地球や土星などの惑星の廻りには月などの衛星を回らせているものもあります。原始惑星は、宇宙から降ってくるおびただしい数の星の衝突に見舞われました。地球を襲った最後の巨大衝突の相手は火星ほどの大きさでした。普通ならば、天体は衝突によつて合体してしまうのですが、この衝突は地球の横面を張つたような形だったので、地球が損傷してその一部を宇宙空間にばらまく結果になりました。飛び散った二部が集積して月になり、地球の周りを回る衛星になったのです。

弁護士



坂元 和夫  
Kazuo Sakamoto

# 「保険料」引き下げは何をもたらすか

## 自民党、日本維新の会

### そして国民民主党の医療政策

自民党と日本維新の会の連立の結果発足した高市内閣ですが、首相の所信表明演説で、医療機関や介護施設の経営危機を受けて、補助金の前倒し支払い、報酬の引き上げの必要性を表明しました。

一方、日本維新の会は、医療制度の抜本改革（医療維新）に向けての政策提言書の中で、①給付と負担の見直し、世代間格差の是正、②医療産業の生産性およびサービス品質向上のための構造改革、③DXによる生産性の向上を基本方針として示し、参議院選挙で「医療費を年間四兆円削減し、社会保険料を下げる」とを公約しています。

また、国民民主党は、既に、二〇二四年九月に「医療制度改革」を発表していますが、これは、①現役世代・次世代の負担軽減、②持続可能な医療提供体制構築を柱としています。

これらの考えをあわせて実行する方向として、政府は、医療、介護の自己負担分の増加、市販薬と成分や効果の似たOTC類似薬の保険給付外し、介護でのケアプランの有料化、要介護1、2の保険給付外し、高額医療費の患者負担上限の引き上げなどを検討しているといわれ

ています。

しかし、この内容は、結局、医療や介護のケアを受ける必要性の高い人、また、低所得者の負担が多額になり、年金額も低くなるという結果につながります。はたして、「保険料」の引下げ、現役世代・次世代の負担軽減は、真に負担の軽減につながるのでしょうか。

### 保険料を下げることの意味は

もともと、保険料負担が多額であることは深刻な問題で、私もその引下げの必要があることはかねてから強調してきました。

しかし問題は、引下げの仕方です。

現在の保険料の負担割合を見てみると、年収二四〇万円で一四・七%、三六〇万円で一四・七%、四八〇万円で一五%、六〇〇万円で一四・七%、七二〇万円で一四・四%とほぼ同じですが、年収がこれ以上になると急激に減少して、年収一億円では一・八三%、一〇億円では〇に近くなります（但し、四〇歳以下の人を前提）。つまり、中低所得者の負担率が高く、これに対して高所得者の負担率が極端に低くなっています。これが多くの市民の負担の重さとして感じられているのです。

これを保険料を下げることで是正する方法としては、中低所得者の保険料率を引き下げ、高所得者の負担率を上げる必要があります。

保険制度では、給付の額と負担額のバランスを考える必要があります。高所得者の保険料を増額するとしても限界があるというのであれば、税金から支出する公費負担の額を増額すべきなのです。

もう一つの問題は、高齢者の給付のために現役世代の負担が高くなっているという批判です。

保険制度は、本来、給付を受けることが予想されている人全員で当該給付の財源を支えるという考えで成り立っているものです。したがって、収入が少なく負担能力の乏しい人を収入が多い人が支えるというのは、本来のあり方です。後期高齢者医療制度が発足したとき、この呼び方が気に入らないという声が多くありました。問題はそこにあるのではなく、収入が少なく給付が多いことが当然に予測される人たち（高齢者を別制度としてしまい、保険原理をそのまま貫くと、負担と給付のアンバランスの

弁護士



尾藤 廣喜  
Hiroki Bitoh

ため、制度が崩壊するということを私は問題にしていました。この制度の発足の当初は、この矛盾を現役世代の保険料と税金を注入することによって何とか対応していましたが、それには限界があり、今日では、後期高齢者医療の保険料を高くするか、自己負担割合を多くするしかなくなってきたのです。そして、この問題点の本質を隠すために「高齢者の給付のためには現役世代の負担が高くなっている」という、保険制度ではむしろ当然のこと、世代間対立を煽って、高齢者の負担をより多くして解決しようとしているのが現状なのです。

本来この問題の解決のためには、後期高齢者医療制度を廃止して、一般の健康保険制度に一本化するか、制度をそのままにするには、後期高齢者医療制度の本来的矛盾を解決するため、注入する税金を大幅に増やすしかありません。

### 政府の対策は

政府はこのような事態に対応するために、医療では、公的病院の病床削減、保険の自己負担分の増加、OTC類似薬の保険給付外し等を検討しているようです。しかし、病床削減は、医療の基礎を支えるシステム自体を切り崩すもので、特に、過疎地域といわれている地域の医療を根こそぎ奪いかねません。保険の自己負担分の増加やOTC類似薬の保険給付外しは、ただでさえ重い中低所得者の負担を更に強めるもので、難病などの患

者さんにとっては、生き死にも関係する深刻な問題です。また、介護保険では、利用料の負担率の増加、ケアプランの有料化、そして、要介護度1、2の給付の介護保険からの除外など、保険あつて給付なしという酷い状態を計画している状態です。そして、年金については、マクロ経済スライドという手法をとって、物価の上昇に年金の額が追いつかないという状態が作られています。生活保護の利用者のうち、高齢者世帯の割合が五五％、障害者世帯の割合が一四％合わせて六九％であること自体がこの国の年金の不十分さを物語っています。

給付を削減し、負担を増やすやり方では、折角ある保険制度を機能しないものにしてしまうことは明らかです。

これを防ぐためには、先にも述べましたとおり、高所得者の保険料負担を根本的に増やすこと。そして、保険への税金の投入を大幅に増やすことが必要です。

### 保険への税金投入の財源は

こういいますと、高所得者の保険料負担を増やすといっても、保険給付と保険料のバランスを考えなければならぬので限界がある、また、税金投入の財源はどうするかとよくいわれます。

かねてから申し上げておりますが、日本の税制度は、年収一億円までは累進課税になっていますが、これを超えると税率が低くなるとう根本的問題があります。高所得者の保険料負担を増やすこと

に限界があることは判りますが、そうであればこそ、高所得者からより多くの税金を徴収することが大事ではないでしょうか。それ以上に問題なのは、研究開発減税などで、法人税が大企業になればなるほど税率が実質的に低くなっていることです。このような税制のあり方を根本的に転換しないと、給付を後退せず、保険料を下げることはできません。

また、大企業の内部留保は二〇二四年度末で六三七兆円と史上最高額になっており、利益が労働者に還元されない状況が続いています。大企業優遇税制を改め適正な課税をすることも大切です。さらに、タックスヘイブンなどで、多国籍企業や富裕層が税逃れをしています。これについても、グローバルな立場からの課税が大切です。すでに国連は「富裕・連帯税に関するハンドブック」を公表して、富裕税の導入をガイダンスしています。そして、何よりも、他国へあえて論争を仕掛け、一方で防衛費を増額させるといふ高市総理の外交姿勢の転換が求められています。

このように、単に「保険料」を引き下げれば良いということではなく、引き下げの財源をどこに求めるのか、また、それによって保険給付の水準を下げないためにどうするかが議論されなければなりません。

私たちは、本当の意味での「税と社会保障のあり方」を議論し、実行を求めて行く必要があります。



## トランプ関税と映画「裁かれた壁」

## トランプ関税と最高裁

トランプ大統領は、国際緊急経済権限法に基づき世界中の国に関税を課しています。同法は、「異常かつ並外れた脅威」に対処する権限を大統領に与えています。トランプ氏は、麻薬密輸やアメリカの貿易赤字が「異常かつ並外れた脅威」であると主張しています。

この関税措置をめぐるのは、米国内の小企業や複数の州が憲法違反との訴訟を提起しています。米連邦最高裁判所は、昨春秋、口頭弁論を開き、保守派を含む大半の判事が、関税措置は正当だとするホワイトハウス側の主張に疑問を呈しました。トランプ氏が指名した保守派のバレット判事やゴッサッチ判事は、「防衛や産業基盤が脅かされているので、すべての国に関税を課す必要があると主張したい」と？スペインやフランスに対してもその必要があると？、「気候変動が起きているという国外からの『異常かつ並外れた脅威』があるとして、大統領がガソリン車や自動車部品に五〇%の関税を課すことは可能なのだろうか」などと疑問を呈しました。

アメリカでは、税金を課す権限は憲法によって議会に与えられており、最高裁は伝統的に、その権限の議会から政権への委譲に関して制限を設けてきました。関税は税金ではなく、規制だとのトランプ氏側の主張に対し、「実際のところ、これはまさに税

金だ」と、リベラル派のソトマイヨール判事は述べたのです。

ところで、最高裁長官と陪席判事は、大統領が指名し、任命しますが、任命には上院による助言と同意が必要とされています。トランプ氏が一期目の大統領に就任した当時、最高裁は、保守派とリベラル派の判事が各四人と勢力が拮抗していました。トランプ氏はゴッサッチ氏、カバノー氏、バレット氏の保守派三人を順次判事に指名。現在は保守派が六人、リベラル派が三人の構成となっています。

皮肉なことにトランプ氏が指名した判事がトランプ氏の政策に疑問を呈しているのです。

## 裁かれる壁

僕は、高校生の頃だったか、またまたテレビで見たアメリカ映画「裁かれる壁」(一九九一年製作)を思い出しました。一九五〇年当時の「隔離するが平等」政策のため、黒人の少年がスクールバスに乗れないのは、憲法違反として、黒人達が訴えた事件を題材にしています。

最高裁長官として新たに赴任したウォーレンは、「正しいと信じることをどうやって実行できるか、模索している」として個々の判事の意見を聞き、隔離教育法は黒人に対する蔑視からきていると各判事の説得を開始したのです。反対意見の最後の二人

になったリード判事に対し「私は政治家として多くの人々に接してきた。その経験から、みんな自分の良心を裏付ける判決は支持するということだ。最高裁が大きな柱を提供すれば、国民はそれを支えにして軌轢を切り抜けるだろう。判決が全員一致ならその支えはずっと強いものになるだろう」と説得し、全員一致の判決を出すことで、アメリカ合衆国の危機を救う基本精神となったのです。

ウォーレン長官が静かに鉛筆を削りながら、判決文を書き進める姿にいいような感動を覚えました。

実は、ウォーレン氏は、地方検事補、カリフォルニア州司法長官、同州知事を歴任して、アイゼンハワー大統領によって最高裁長官に任命されました。アイゼンハワー大統領は、ウォーレン氏が日系人の強制収容など人種差別的な施策を推し進めたので、穏健で保守的な人物であると思い、最高裁長官に指名したのでした。しかし、その時には、ウォーレン氏は、この施策が間違っていたと深く後悔していたのです。

人間の良心こそが権力の横暴に対抗できる力であり、司法が対抗する力を良心に与えているのです。

弁護士

山崎 浩一  
Koichi Yamazaki

## デジタル認証（最近の知見）

ネットワークを介したサービスの提供・利用を行うためには、何よりもその安全を確保するための規律が必要となります。この規律に関する代表的なものが米国商務省傘下の国立標準技術研究所（NIST）が公表しているデジタルアイデンティティガイドラインです。これは、本来米国政府機関向けのもですが、世界中で官民を問わず広く採用、参照されてきているいわば世界標準的なものとなっています。その最新版は、二〇二五年七月三日に公表された第四版（NIST SP 800-63-4）で、概要文書のほか、（アカウント等の）登録及び身元確認の要件を扱う63A、（登録後の）認証の要件を扱う63B、（システム間の）連携の要件を扱う63Cの四文書から成っています。このうち、一般利用者に最もなじみの深い認証要件に関し、その二端を紹介することとします。

求められる認証レベルについては、AAL1からAAL3の三段階の強度が示されています。認証の三要素として、「記憶」（利用者のみが知っている情報を使用。例えば、パスワード）、「所持」（利用者のみが所持している情報を使用。例えば、認証コード）及び「生体」（利用者のみに備わっている身体的

特徴を使用。例えば、指紋、顔）の三種類があり、このうちの二種類のみを使用するものが単一要素認証、複数種類を使用するものが多要素認証と呼ばれますが、これが認証レベルを定める大きな要件になっています。

AAL1は、SNSや娯楽系のアプリなどでの使用が想定され、指定された単一要素認証（例えば、パスワード）で足り、再認証が要求されるまで三〇日以内とされます。AAL2は、オンラインバンキングや行政手続などでの使用が想定され、指定された多要素認証（例えば、記憶認証であるパスワードと所持認証であるSNSやワンタイムパスワードの組み合わせ）が必要とされ、再認証を要求されるまで二時間以内又は非活動三〇分以内とされます。AAL3は、軍事、重要インフラなどを対象としています。

パスワードは、これを用いない方向に進んでいます。現に幅広く普及していますので、引き続き要件が定められています。特に複雑性は却って安全性を損いかねず、安全性と使いやすさは両立し得るという研究成果をもとに、これまでの常識が多く覆されています。

①大文字・小文字・数字・記号の混在を求め

てはならない。

②定期的なパスワードの変更を義務付けてはならない。例外は、侵害が確認されている場合です。

③知識ベースの認証（例えば、秘密の質問として、母親の旧姓を答えさせる）を使用したり、パスワードヒントを保存してはならない。

④長さにつき、パスワードのみの単一要素認証の場合は五文字以上、多要素認証の場合は八文字以上、最大長は少なくとも六四文字とする。複雑なパスワードより長いパスワードの方が安全ということからです。文字種として空白文字等を含める。これにより長くても覚えやすい文によるパスワードが使いやすくなります。

⑤パスワードマネージャーの使用、オートフィル（自動入力）機能の使用、パスワードのペイスト（貼り付け）を認める。

私としては、右の⑤、②、③は特に大歓迎です。



弁 護 士

鋤 田 則 仁  
Norihito Kuwata

## サッカーと繋がり

昨年夏の事務所報で、京都サンガF.C.のサポーターカンパニーを始めたことについて書きました。昨季のサンガは、終盤まで優勝争いをしたものの勝利を重ねきれず、優勝するには至りませんでした。このようなシーズンはまだまだかつて無く、それだけに何としても優勝したかったところですが、J1は甘くないものです。

しかし、終わりではありません。本稿の執筆時点(十二月下旬)では熾烈な3位争いが始まっています。私も、最終節の神戸戦にはスタジアムに参戦し、今季の結末を見届けるのを楽しみにしています。

【追記】史上最高順位となる3位確定を見届けることができました！

今季後半のサンガスタジアムは、2万人分の座席が発売直後に完売・満員になることが当たり前になっており、西京極時代からすると隔世の感があります。現地の応援も迫力があり、熱狂的な空間が作られています。

スポーツは、しばしばナショナリズムと結びつけて語られます。サッカーはその代表格であり、ディストピアSFの古典「1984」の著者であるジョージ・オーウェルは、ディナモ・モスクワ(旧ソ)が英国を訪問してアーセナルと対戦した際に殴り合いになったこと等に

触れて、「銃なき戦争」とであると評しました。

また、ピッチ内のみならず、現実に戦争に発展した事例として、一九六九年のW杯予選を巡るサポーター同士の間で衝突をきっかけに、エルサルバドルとホンジュラスが開戦するに至った「サッカー戦争」があります。もちろん、実際にはサッカーが原因ではなく、経済問題等の背景事情があったわけですが、独裁的な両国政権にとってサッカーはそうした事情から目を逸らす好材料でした。

こうしてみると、サッカーがもたらす結束力がナショナリズムと結びつくことよる負の側面というのは決して無視できないように思います。しかし、必ずしも負の面ばかりではありません。

英チエルシーで世界屈指のFWとして名を馳せていたドログバを擁するコートジボワール代表は、二〇〇五年、W杯初出場を決めました。当時、コートジボワールは政府と反政府勢力との間で内戦状態でしたが、代表の試合は双方が銃を置いて見守っていたといいます。

勝利に沸くロッカールームの中継で、ドログバは、中継カメラに向かって跪きます。そして、すべての国民に対して「膝をついて、あなたたちをお願いします。許し合ってください！許し合ってください！許し合ってください！」のように戦争に陥つてはいけません。どうか、お願いします。武器を置いてく

ださい。選挙を行ってください。」と訴えかけたのでした。その後、政府は選挙を実施し、二〇〇七年に内戦は終結したのです。

ドログバの言葉がすべてではないにせよ、国内の結末に少なからず影響を及ぼしたことは確かです。

京都サンガは、府内の全域をホームタウンとするチームです。京都府は、行政単位としては二つであっても、丹後／丹波／山城と地域ごとに異なる背景を有していますし、京都市でも洛中／洛外という意識の隔たりはあります。こうした隔たりがあればこそ多様性が保たれるという面もありますから、私は殊更にこれを否定するつもりはありません。しかし、時には二つになる瞬間があつてもよいはずです。私は、京都サンガが、そうした瞬間をもたらしてくれるチームになつてくれることを願っています。

縁あつて、年末に駒井善成選手(元京都サンガ、現横浜F.C.)・奥川雅也選手(元ビレーフェルト他、現京都サンガ)が開催するサッカー交流会を手伝うことになりました。私も、サッカーを通じて多くの人が繋がりが合うために役に立てればと思います。



弁護士

齋藤 亮介  
Ryosuke Saito



## Suicaのペンギンの「卒業」

昨年十一月、JR東日本の交通系ICカードであるSuicaのマスコミキャラクター「Suicaのペンギン」が、二〇二六年度末をもって卒業すると発表されました。「Suicaのペンギン」が、Suicaのキャラクターとして初登場したのは二〇〇一年で、以降約二五年間にわたって親しまれてきたこととなります。

JR東日本の説明によると、「Suicaのペンギン」には、長年Suicaの認知度向上・利用促進に多大な貢献をしてもらっていたが、Suicaを「移動と少額決済のデバイス」から顧客や地域の様々な生活とつながる「生活のデバイス」と進化させるタイミングで卒業となったとのこと。

しかし、「Suicaのペンギン」には、東日本に留まらず全国にファンがおり、『Penguin』という専用のグッズストアが展開していたり、新宿駅前には「Suicaのペンギン」の銅像が建っているほど、全世代的に人気を博し続けているキャラクターです。

今回の発表は、このように長年国民的な人気があり、グッズ等のキャラクター関連収入など経済面での貢献も大きいと考えられるキャラクターの「卒業」としては、やや唐突な印象で、JR東日本の発表を読んでも今ひとつ腑に落ちません。実際に、今回の発表は「Suicaのペンギン」ファンを中心に波紋を呼び、突然過ぎるといった意見や、本当

に変える必要があるのかという意見も多く、キャラクター変更に対する署名運動等も起きているようです。

今のところJR東日本からは、キャラクターを交代させる理由について、冒頭の理由以外明らかにしていませんので、真相は分かりません。ただ、今回の「Suicaのペンギン」交代劇には、企業とキャラクターを巡る複雑な背景があることが指摘されています。

「Suicaのペンギン」は、実はJR東日本オリジナルのキャラクターではなく、イラストレーター・絵本作家の坂崎千春氏の絵本に登場したペンギンを「原作」としています。契約内容によるため詳細は分かりませんが、外部から見ると、「Suicaのペンギン」は、坂崎氏、JR東日本、電通が共同で著作権を有している状態となっているようです。

キャラクターを使用するためには、著作権者の承諾が前提となり、それに伴い著作権使用料も発生することになるでしょう。またマスコミキャラクターとなるとイメージも大事ですから、どのような場面で使用するか、どのような表情やポーズを取らせるかなど契約によって様々な制限があったり、著作権者の同意

が個別に必要なものとなるべく、場面も多くなってくるのが実情です。

JR東日本は、二〇二六年度以降、Suicaを少額決済を前提とした単なる交通系カードから、ある程度高額の買い物にも利用されるような幅広い決済手段の一つとして位置づけようとしています。このような戦略と「Suicaのペンギン」のイメージの微妙な齟齬や、著作権回りでの負担、制限が今回の変更に影響を及ぼした可能性も高いように思われます。

キャラクター人気の高まりを受け、企業・団体がイメージキャラクターを導入するケースは増えており、上手くいけば企業イメージの向上やグッズ収益等重要な収入源に繋がるものです。一方で、キャラクターを導入したり、その改廃を行う際には、著作権を始めとする権利の問題による制限や負担、また人気を支えるファンの愛着に対する理解と丁寧な対応もより重要になってきているといえるでしょう。

弁 護 士

鋤 田 透  
Toru Kuwata





## 藤袴

マンションで生活をしていると場所によっては日当たりが悪くなり、ベランダで植物を育てることが難しい場合があります。うちも同じで、花が咲いたり、実がなったりするほど十分には日が当たらず、育ててはみるものの、いつも残念な結果になってしまいます。そうすると、どうしても植物を育てたり、植物に関心を持つたりする機会が少なくなります。

ある時、子どもから、「学校で藤袴を育てている」という話がありました。私も子どもの頃に、学校で朝顔やミニトマト等を育てたことはありましたが、藤袴なんて育てたことがなく、植物に全く疎い私はどんな植物かも想像がつかず、「藤袴って何？」という状態でしたので、子どもから藤袴の説明を受けました。

植物に詳しい方ならご存じかと思いますが、藤袴を調べてみると、藤袴は万葉集で歌人山上憶良が詠んだ「秋の七草」に登場します。そして、これに由来して、今も秋の七草の一つとなっています（ちなみに、他の秋の七草は、萩、尾花（ススキ）、葛、撫子、女郎花、桔梗です）。「藤袴」という名前の由来は、花の色が藤色で、葉の付け根の形が袴のように見えるという説が有名のようです。花は八月から十月に開花し、色は淡いピンク、紫で、一つ一つの花

がとても小さく、それらが集まっています。そして、藤袴の葉に含まれるクマリンという成分により、桜餅のような香りがします。私も実際に葉の香りを嗅いでみたところ、確かに目の前に桜餅が置かれているのかと思うほど桜餅の香りがします。このクマリンという成分は、桜の葉に含まれる成分と同じであり、そのため、桜餅を連想させる香りがするようです。

特に、藤袴の葉を乾燥させると二層香りが強くなるため、乾燥させた藤袴は、古くから香料や匂い袋として利用されてきたようです。平安時代には、乾燥した藤袴は、衣類や文にほのかな香りを移すための「移り香」として用いられ、平安貴族が重んじた「かすかな香りの美」を体現するものとして、重宝されたようです。

実際に、子どもが学校の授業で、自分で育てた藤袴の葉や茎等を乾燥させ、袋や紙に詰めて作ったお手製の匂い袋や入浴剤を持って帰ってきたのですが、育てていた時よりも、一層香りが立ち、立派な匂い袋ができていました。これが平安時代から続く高貴な香りなのかと思うと、なんだか感慨深い気持ちになります。

そんな藤袴ですが、昔は川の堤防等に群がって生えていたようですが、現在、環境の変化や開発の影響で自生地が激減し、

京都では野生の藤袴は絶滅したと考えられていました。

しかし、一九九八年に京都市西京区大原野で野生の藤袴が発見され、現在、京都府レッドデータブック二〇一五において絶滅寸前種に指定されています。園芸店で販売されているフジバカマの多くは、近縁種のサワヒヨドリ・ヒヨドリバナとの交雑品種で、厳密には、野生のものと異なるようです（もしかしら、子どもが育てていた藤袴も、厳密には交雑品種なのかもしれません）。

近年では、各地で藤袴の保全・育成活動がなされ、様々なイベントも開催されています。弊所近くの寺町通りでも、藤袴の保全育成成果をお祭りという形で展示、発表する「藤袴祭」が毎年開催されています。

いつの日か、群がって自生する藤袴を見て、昔、子どもが育てたあななんて思いながら、秋の訪れを感じられるような日が来てくれたら、嬉しく思います。



弁護士

No Printing

渡邊 遥香  
Haruka Watanabe

# 甘い言葉にご注意を

最近、公私を問わず投資詐欺についての相談を受ける機会が多いです。

近年社会問題となっている投資詐欺ですが、具体的にどのような手口で行われており、どのようなきっかけで騙されてしまったのでしょうか。

二〇二四年から新NISAが始まり、政府も盛んに国民に投資を呼びかけていますから、投資に興味を持っている方は多いと思います。しかし一方で投資について十分な知識を持っている人は少なく、私も含め多くの人が漠然とした不安を抱えているのではないのでしょうか。

つまり、投資詐欺業者にとってはかき入れ時ということです。

ここでは、投資詐欺の「入り口」ごとに切り分けてその手口と紹介しようと思います。

## ① SNS

最もポピュラーで、投資詐欺と聞いて思い浮かべる人が多いのがこの系統かと思えます。SNSに掲載された広告や、DM等を用いて「絶対儲かります!」「特別にご招待!」などの甘い言葉で被害者を誘惑し、やり取りを重ねる中で信用させ、投資を煽って「投資金」や「手数料」といった名目で金銭等を振り込ませます。

絶対に儲かる方法などありませんし、あつたから見つけた人が独占しています。縁もゆかりもないインターネット上で知り合った人に教えるはずがありません。

## ② 投資セミナー

投資について知りたがっている投資初心者等を対象として無料または低額の投資セミナーを開催し、最初は一般的な投資の話をしていると見せかけて、徐々に存在しない特殊な投資手法のようなものを高額で売りつけるというものです。会場内にはスクラを用意し、自分も成功できるんだと思い込ませます。

絶対に儲かる方法などありませんし、以下略。

## ③ ロマンズ詐欺

出会い系サイトやSNS等で、性的関係を匂わせつつメッセージを重ねる中で、「あなたにだけ特別に紹介したい」などと言って徐々に投資の話に持って行きます。その後は①と同様です。

## ④ 被害回復

一度投資詐欺その他の詐欺の被害に遭った人に、被害金を取り戻すことができると言つて近づき、手数料等の名目でさらなる追い打ちをかけるものです。投資詐欺の被害金の回収は、弁護士に依頼したとしても非常に難しいものです。まるで必ず返ってくるかのような謳い文句には注意が必要です。

これらの詐欺の多くに共通するのが、「保証」「必ず」「絶対」といったキーワードです。一見リスクがなく、魅力的に見えますが、投資においてまったくのノーリスクということはあり得ません。そのような謳い文句は、そもそも投資として成立していないと喧伝するよいなものです。

また、これらのキーワードを信じ込ませるため、初めの数回はきちんと振込・入金があるというケースが多いです。これらは被害者自身や他の被害者から詐取した金銭を回しているだけであつて、詐欺業者は投資などしていません。

一般的に、投資で得られる利回りは二パーセントから十パーセントと言われています。一時的に上振れることはあつても、最初からこれを超える高利回りを保証することなどできるはずがありません。

敢えて断言しますが、何のリスクもなく、自分はお金を振り込むだけで何の努力もしないでよいにもかわらず、十パーセントを超えるような利回りを謳う商品、事業、サービスはすべて詐欺です。

弁護士



大場 勇輝  
Oba Yuki



# かもがわ講座

## 区分所有法の改正

令和7年5月23日、「老朽化

マンション等の管理及び再生の円滑化等を図るための建物の区分所有等に関する法律等の一部を改正する法律」が成立し、これにより区分所有法その他の関連法が改正されました。マンション等の区分所有建物が高経年化し、居住者も高齢化していることから、管理及び再生を円滑化するため、区分所有法制を見直したものです。

改正区分所有法は、令和8年4月1日から施行されます。主な改正点は次の通りです。まず、所在が不明であったり、連絡がつかない区分所有者については、裁判所が除外決定をすれば、その所在等が不明の区分所有者の頭数と議決権が、多数決の母数から外されること

になりました。

また、マンション管理に関する区分所有者の無関心が拡大していることから、普通決議、共用部分の変更、規約の設定・変更・廃止の決議等については、出席者の多数決により決議ができるものとされました。専有部分について、所有者やその所在が不明であったり、管理が不十分であったりする場合には、裁判所が選任した所有者不明専有部分管理人または管理不全専有部分管理人が、専有部分の管理を行う仕組みができました。また、共用部分についても管理が不十分な場合に、管理不全共用部分管理人が選任され、共用部分の管理を行う仕組みが設けられました。

建替え決議は、区分所有者

および議決権の各5分の4以上の多数による集会の決議で決するという原則は維持されるものの、①耐震性の不足、②火災に対する安全性の不足、③外壁等の剥落により、周辺に危害を及ぼすおそれ、④給排水管の腐食等により、著しく衛生上有害となるおそれ、⑤バリアフリー基準への不適合のいずれか(緩和事由)が認められる場合には、各4分の3以上の多数により決定することができるとされました。



表紙の写真の説明

貴船神社

貴船神社の2頭の馬の像です。隣に立てられている看板には、貴船神社が雨乞の社として名高く、歴代の天皇より、早天には黒馬が、霖雨には白馬や赤馬が奉納され、祈願がなされたと書かれています。また、生き馬に換えて、板に馬の絵を描いた板立馬(いただてうま)になり、これが絵馬の原形とも記されています。